

クールジャパン人材育成について

平成29年3月21日

経済産業省

クールジャパン人材の「キャリアチェーン」構築支援の課題と対応

	国内		海外での教育・就労
	教育	就労	
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン分野においては、現在必要とされるデザイン+技術+経営といった能力育成が出来る大学が東京大学i-School、京都大学、九州大学、慶応大学等に限定されている。芸術系のデザイン学科と工学系のデザイン学科の連携が不足 ・ファッション分野においては、文化服装学院等専修学校はあるが、大学レベルのファッション学科が不足（海外では、ファッション学科を持つ大学が人材育成を担う） ・サービス分野（例えば食）においては、中村学園大学が「フード・マネジメント学科」を設置するが、全般的に不足 ・大学を設置するためには、教員資格、設置基準等を満たす必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン分野においては、国内での教育に加え、海外のデザインスクール（RCA、スタンフォードd.school、イリノイ工科大学等）へ留学しキャリアアップする傾向 ・ファッション分野では、国内での教育に加え、海外の著名な大学（セントマーティン、アントワープ、パーソンズが三大大学）に留学してから就労する傾向 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションデザイナーが海外で活躍するための資金支援やビジネスノウハウが不足。 ・コンテンツの国際展開を担う人材の不足。
日本人人材への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●デザイン・ファッション・サービス分野 ・既存の大学・大学院に専門の学科を設置することに加え新たに「専門職大学」の設立支援を検討 ・デザイン分野における大学等高等教育機関相互の連携促進、教育カリキュラム策定支援 ・サービス分野における「おもてなしスキルスタンダード」の普及 	<ul style="list-style-type: none"> ●デザイン・ファッション分野 ・デザイナーと産地企業との連携支援 ・「ファッションウィーク東京」等による若手デザイナーの発掘 ●サービス分野 ・「おもてなし規格認証」取得企業の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ●ファッション分野 ・「ファッションウィーク東京」等により若手デザイナーの世界への露出拡大 ●コンテンツ分野 ・海外フィルムスクールへの受験に必要な推薦状取得に関するアドバイスなど、総合的なサポートを実施。
外国人人材への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●デザイン・ファッション・サービス分野 ・既存の大学・大学院に専門の学科を設置することに加え新たに「専門職大学」の設立の支援を検討し、外国人材の受入を促進 ・ファッションスクールのエスモード等へ留学生受入のビザ発給体制を整備済 ●コンテンツ分野 ・認可外校への留学生受入に向けたビザ発給体制を整備済 	<ul style="list-style-type: none"> ●デザイン・ファッション・コンテンツ・サービス分野 ・在留資格に係る法務省ガイドラインの明確化 ・ファッションスクールのエスモード等の留学生の就労を可能とする制度改正 ・「高度デザイン人材」に係る「日本版高度外国人材グリーンカード」の適用 ・国家戦略特区による外国人材受入 	<ul style="list-style-type: none"> ●コンテンツ分野 ・CJ機構の出資を通じた海外における日本コンテンツのクリエイター育成スクールの設立

(参考1) 高度デザイン人材の施策の方向性

- 現在、第4次産業革命下における、**デザイン等クリエイティビティの重要性の検証・普及施策の検討**のため、今年度「**第4次産業革命クリエイティブ研究会**」を開催。
- この取りまとめも踏まえ、**高度デザイン人材育成の観点から、下記方向性を検討**。
 - 高度デザイン教育で先行している大学等の相互の情報交換を促すとともに、モデルとなる**高度デザイン教育カリキュラムを開発**し、パイロットケースを生み出す。
 - **文部科学省で進められている新たな高等教育機関構想**を念頭に、策定したモデルカリキュラム等を**地方大学**まで広げ、具体的ニーズを前提とした**産学連携プロジェクトを推進**することで、企業で活躍できる高度デザイン人材を育成。

<第4次産業革命クリエイティブ研究会>

■ **日程**：平成28年11月～平成29年3月（全5回）
報告会：3月9日

■ **委員**（敬称略）

鷲田祐一（座長） 一橋大学大学院商学研究科教授

澤谷由里子 東京工科大学大学院 アントレプレナー専攻教授

柴田尚希 三菱重工業(株) 先進デザイングループ長

土屋尚史 (株)グッドパッチ代表取締役

西村真里子 (株)HEART CATCH代表取締役

林千晶 (株)ロフトワーク代表取締役

山中俊治 東京大学大学院情報学環生産技術研究所教授

■ **議論テーマ**

① 企業のクリエイティビティと成長性の相関

② 高度デザイン人材の人材像・育成手法

③ 企業経営へのデザイン等クリエイティビティの導入 など

<高度デザイン教育カリキュラムの開発・展開>

先行する大学間の横連携

モデルカリキュラム策定

パイロットケースの組成

全国大での展開

<文部科学省で進められている新たな高等教育機関構想>



(参考) 海外の先行的デザインスクール

スタンフォード大学デザインスクール

イリノイ工科大学デザインコース

マサチューセッツ工科大学システムデザインマネジメント

英国王立美術大学 (RCA)

ポツダム大学デザインスクール

デンマークカオスパイロット 等

(参考 2) 世界のメジャーなファッションスクール

- 世界の「三大ファッションスクール」として認知されているのは、以下の3校が挙げられるが、これに匹敵するファッションスクールが日本には不在。

セントマーチンズカレッジ



Central Saint Martins College
of Art and Design

ロンドン芸術大学（University of the Arts London）内にあるカレッジの1つで、世界的に著名なアーティストを輩出している名門校。コースのレベルも多彩で、5日間から3カ月のショートコースから修士課程まである。毎年6月に行われる卒業コレクションは各国のファッション関係者やジャーナリストが注目。

アレキサンダー・マックイーン、ポール・スミス、ジョン・ガリアーノ等の有名ファッションデザイナーを輩出。



パーソンズ美術大学



Parsons School of Design

1896年に創立されたアートとデザインの私立専門大学。1904年に米国で初めてファッションデザイン学科を創設。4年制（BFA）、2年制（AAS）、大学院（MFA）とあり、ファッションデザインやファッションマーケティングを教えている。AASは2年制ながら高卒対象ではなく大卒対象でBFAとMFAの中間程度のレベル。

トム・フォード、マーク・ジェイコプス、アナ・スイ、ダナ・キャラン等を輩出。



アントワープ王立芸術学院



Antwerp Royal Academy of
Fine Arts Belgium

写真・演劇・絵画・ファッションなどの学校で、1663年に設立。欧州でも最も歴史ある芸術アカデミーの一つ。ベルギー政府がファッションを国の財産にする構想を立て、1963年にファッション学科を開設。

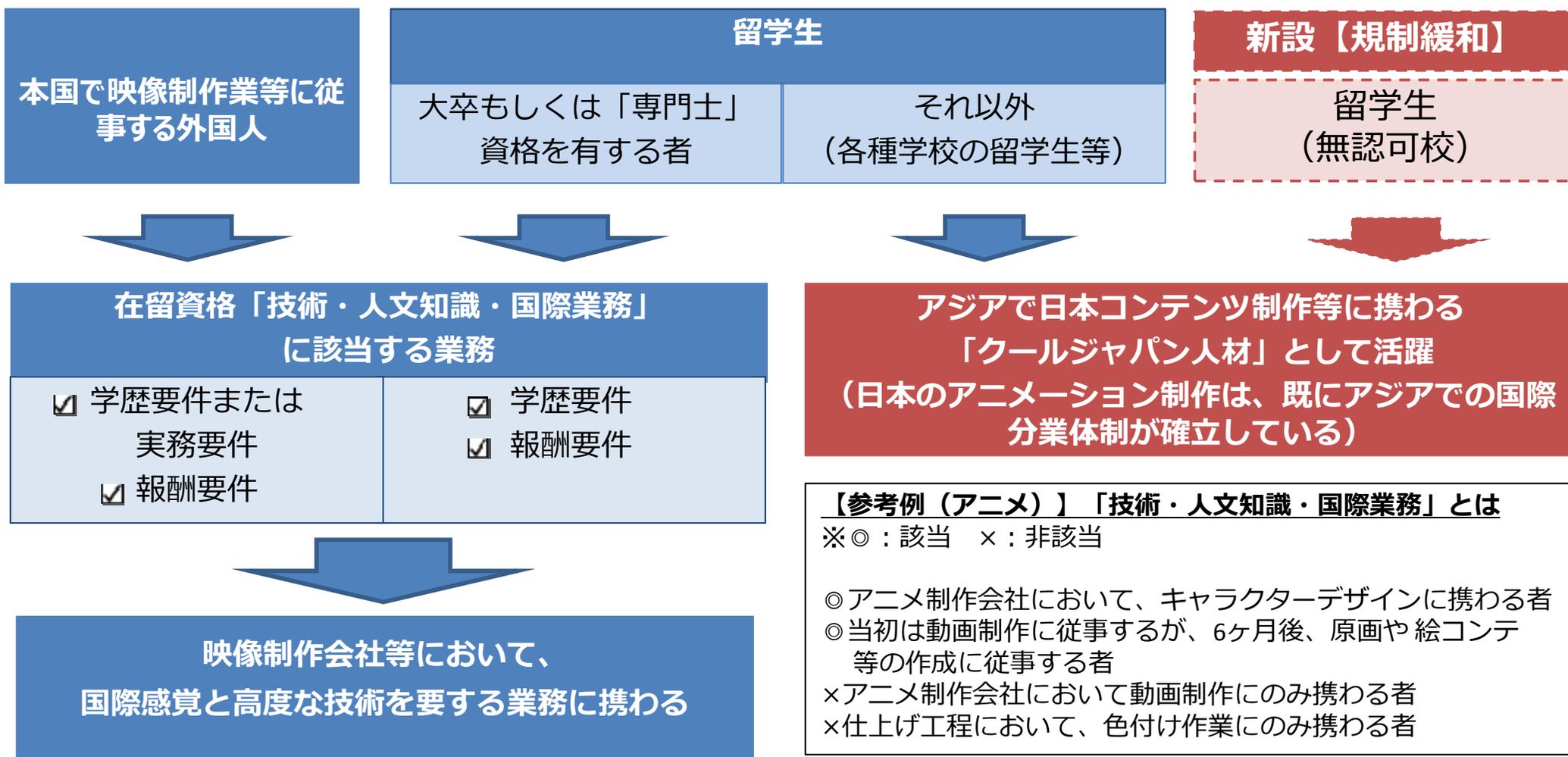
総称で「アントワープの6人」と呼ばれる、アン・ドゥムルメステール、ウォルター・ヴァン・ベイテンドク、ダーク・ヴァン・セーヌ、ダーク・ビッケンバーグ、ドリス・ヴァン・ノッテン、マリナー・イーを輩出。



(参考3) コンテンツ産業における外国人の就労について

- 映画やアニメなど、日本のコンテンツは世界中で親しまれており、アニメ等の映像制作の現場で働くこと／働ける技術を身につけることを希望する外国人も多い。
- このため、アニメ（・マンガ・ゲーム）分野においては、クールジャパン人材活用の裾野を広げるべく、法務省と協議の上、無認可校への外国人留学生の受入の仕組みを構築したところ。

～外国人が日本のコンテンツ制作に携わるスキーム～



(参考4) サービス人材の施策の方向性

- マネジメントスキルを中心とした経営人材育成を育成する教育機関の整備。
- 現場人材に必要なスキルも含めた「おもてなしスキルスタンダード」の普及の両輪で、スキルの高度化に対応。

我が国の大学における取組

<中村学園大学>

食産業のサービス経営人材を育成する「フード・マネジメント学科」の設置が決定。
さらに、食のハーバード大とも言われるCIAとの提携に成功。
今後、食に関する経営人材を育成する、海外大とも連携したカリキュラム開発等も進める。



<京都大学>

コーネル大学との連携に向けた交渉を進め、国際レベルの観光サービスを核とした高度マネジメント人材を育成するプログラム（観光MBA）の開発を進める。



現場人材のスキル高度化への取組

- ① AI技術等により代替される低付加価値業務から脱却し、価値向上に資する業務への注力が重要。
- ② 人的スキルが高く人的要素を重視している企業が高付加価値・顧客満足を実現。
- ③ 高付加価値サービスにおいては、高度な「おもてなし」を実践するスキルが重要。

<事例>

(株)スーパーホテル
ITを活用したローコストビジネスモデルに加え、社員提案に対するユニークな表彰制度や教育を重視。



出所：日本サービス大賞

<スキルスタンダードの構築>

- ① 優良事例企業へのヒアリング
- ② 既存関連資格等の要素抽出
- ③ 予想されるスキルの研究



SSSの構築

<普及>

○カイゼンスクール
中小企業に対するoff-JTの場の創出

○おもてなし規格認証
人材要件として活用



おもてなし規格認証 2017 1月スタート